

1・本園の教育目標

幼児一人ひとりの可能性を広げるために、幼児の主体的な遊びを十分に確保し、自発的に遊べる保育環境の中で、友だちどうしのかかわりを大切にした教育を目標としている。また「食育」として、食べることは生きていく上での最も大切なことと位置づけ、様々な取り組みをしています。幼児期にふさわしい生活が展開されるように、教師との信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友だちと十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

2・本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・身体を動かし、基礎体力の向上・体力増進を行い健康に過ごす。
- ・保育内容を子どもの成長に合わせて検討し計画的に進める。

3・評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況と今後の課題
保育の計画性について	年間・月案で学年ごとにカリキュラムを作成し計画的に保育を進め、成長に合わせ修正や見直しを行っている。
保育のあり方、 幼児への対応について	安全管理や、感染症対策などに注意を払い、安全・安心の中で保育を行えるようにしてきた。
保護者への対応について	安心して送り出し預けていただけるよう、個々に合わせての丁寧な対応を行っている。
開かれた幼稚園づくり について	屋上開放を行い、幼稚園への見学も個別対応で受け入れ一人ひとりのニーズに合わせて実施してきた。
研修と研究について	外部研修に行く機会も増え個々に学ぶことは少しずつ増えたが共有する時間などが取りづらいので今後検討が必要である。

4・学校評価の具体的な目標や計画の総合的な結果評価

職員全員が取り組むべき課題に向かい実際の保育に表れているが、より一層の確実性への取り組みを園全体で更に効果的なものにした。

5・学校関係者評価

様々な行事や、日々の業務の中で話し合いや研修などに時間を確保することが難しい為、どのように時間確保をするのか検討していく。また、改善点については職員間で話し合い更により良くするために検討し変えていく。

